学校番号	T0106

平成 31 年度　　理科

教科	理科	科目	生物基礎（通信）	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書等	高校生物基礎　　実教出版						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ

この科目は、通信科目であるため、3 週間に 1 回の授業です。そのため、1 回に進む量が、3 年生・4 年生の選択科目である地学基礎に比べて多くなります。ほぼ毎回レポート課題を出し、提出期限（配布後 1 週間後が目安）を設定します。全 7 枚の課題レポートのうち、6 枚以上のレポートの合格と、授業の出席率及び考査の得点から、単位認定の有無を判定します。他の通信科目もあり、レポートを毎回こなすのは大変かと思いますが、3 年間で卒業するための試練と思い取り組んでください。

2　学習の到達目標

毎回の授業に出席し、内容理解に努める。岩石や映像などを交えて、授業の理解を促すので、その中で、疑問点が出れば自分で調べるまたは、質問をして解決する。学年末考査の日にノート提出をしてもらい、1 年間のレポートと、授業プリントの有無を確認するので、毎回の授業のプリント及びレポートの自己管理能力を身につける。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c：観察・実験の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	授業に集中し、指示内容を聞き、配布物の自己管理ができるように努める。配布物（プリント・レポート）の整理を習慣づけることで、学習意欲を向上させる。	模型や映像及び教員の授業内容についての雑談などから、知的な想像力を養い、短文で課題に対して取り組めることができる力を養う。	課題レポートや、観察実験での考察を通して創造力を養い、生物に対する疑問点を自ら解決する能力を養う。	毎回の授業内容をレポート課題などで、整理し、次回の授業の理解に結び付けることができるようにする。
評価方法	・出席状況 ・レポート課題の提出 ・授業態度	・プリントの記述内容	・実習中の態度 ・提出物	・レポート内容 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価基準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">前期</td><td rowspan="4">生物の細胞の働き</td><td>細胞の基本構造</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a：生物を構成する細胞の構造について説明・プリントなどで整理しながらまとめさせる。
b：映像や話の内容から創造力を養わせ、疑問点を追及し、自ら調べる力を養わせる。
c:顕微鏡の操作方法や酵素の特徴を理解し、活用させる。
d：授業で学んだ知識をまとめ、知識として定着させ､理解を深めさせる。</td><td rowspan="4">学習状況
ノート
プリント
観察･意欲
定期考査
出席日数</td></tr>
<tr><td>顕微鏡の使い方</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>代謝とエネルギー</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>酵素のはたらき</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="4">後期</td><td rowspan="4">植物の生活と光</td><td>光補償点・光飽和点</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a：身近な植物の仕組みについて映像やプリントなどを活用し、関心をもたせる。
b：授業での説明で、疑問点があれば自ら調べ解決する能力を養う。
c:顕微鏡を用いた気孔の観察などから、肉眼では見えない領域の観察方法を育む。
d：反応経路が複雑な呼吸・光合成の仕組みを授業時に班でまとめさせ、生徒間の理解を深める。</td><td rowspan="4">学習状況
ノート
プリント
観察･意欲
定期考査
出席日数</td></tr>
<tr><td>植物の葉の仕組み</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>呼吸と光合成①</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>呼吸と光合成②</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

※表中の観点　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現　c：観察・実験の技能　d：知識・理解
※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。